

口吉川地区 市政懇談会資料 (意見交換)

日時：令和8年9月17日

午後7時30分～

場所：口吉川町公民館

市政懇談会出席者一覧

役 職	氏 名
市 長	なか た かず ひこ 仲 田 一 彦
副 市 長	いし だ ひろし 石 田 寛
副 市 長	ごう だ ひとし 合 田 仁
教 育 長	おお きた ゆ み 大 北 由 美
総合政策部長	あか まつ ひろ あき 赤 松 宏 朗
総務部長	ふじ わら けん じ 藤 原 健 二
市民生活部長	くだ まつ とし き 降 松 俊 基
健康福祉部長	やま しろ ち あき 山 城 千 明
産業振興部長	あら いけ よう じ 荒 池 洋 至
都市整備部長	こむ ららき かず ま 小 紫 一 磨
上下水道部長	すな かわ こういちろう 砂 川 耕一郎
議会事務局長	こう もり のぶ あき 公 森 伸 明
消 防 長	だい とう しげ よし 大 東 成 吉
教育総務部長	もり た ま き 森 田 真 規
教育振興部長	やま ぐち まさ あき 山 口 正 明

地区からの意見・提言(意見交換)

口吉川地区

	意見・提言の内容	回答者
1	口吉川小学校の今後について	教育振興部長
2	ラジコン草刈り機等の購入・貸出について	産業振興部長
3	持続可能な農業について	産業振興部長
4	市政懇談会におけるフリートークについて	市民生活部長

市政懇談会 回答

地区名	口吉川地区	
意見・提言等	1	口吉川小学校の今後について (区長協議会)
(内容)		
令和10年には、豊地小学校が三木小学校へ統合する流れで進んでいると聞いている。同じような小規模校として口吉川小学校だけ取り残されるのではないかと不安に思う。 現時点における市として、教委育委員会としてのお考えをお聞きたい。		
回 答	(担当課) 教育振興部 学校教育課	
昨今の児童数の減少に伴い、学校の小規模化が進んでおり、三木市においても、子どもたちにとって望ましい教育環境をどのように確保していくかが重要な課題となっています。 教育委員会では、特に1学年が単学級で、児童数が著しく少ない学校については、学習活動の広がりや、多様な考えに触れる機会、人間関係を築く経験など、子どもたちの学びや成長への影響を十分に考えていく必要があると認識しています。 口吉川小学校では、これまで地域の皆様の温かい支えのもと、地域の特色を生かした教育や、他校との交流など、小規模校ならではの工夫を重ねてこられました。また、長年にわたり地域と学校が深く関わりながら、子どもたちを育ててこられた歴史があることも十分に認識しています。 一方で、児童数の減少は今後も続くことが見込まれており、口吉川小学校についても、将来の子どもたちにとってどのような教育環境が望ましいのかを、具体的に考えていく時期に来ていると考えています。 近隣の豊地小学校では、地域からの要望を受け、現在、令和10年度の統合に向けた取組が進められています。学校再編に至る経緯や地域の状況は、それぞれ異なることから、口吉川小学校についても豊地小学校と同じ進め方を前提とするものではありません。 そのような中、令和8年7月には、口吉川町まちづくり協議会内に「口吉川小学校のあり方検討特別委員会」が設置されました。教育委員会としては、この動きを、今後の口吉川小学校の在り方につ		

いて、地域の皆様とともに具体的に考えていく大切な機会であると受け止めています。

これまで、市としましても区長協議会等において、小学校の現状や課題についてご説明させていただく機会もありました。引き続き、児童数の将来推計や小規模化による教育上の課題、学校再編を行った場合の教育環境など、検討に必要な情報を教育委員会からも丁寧にお示ししてまいります。

その上で、保護者、とりわけこれから小学校に子どもを通わせる若い世代の声をはじめ、地域の皆様の様々な思いを伺いながら、「これからの口吉川の子どもたちに、どのような学びの環境を保障していくのか」という視点を大切に、協議を進めてまいります。

教育委員会としても、地域だけに判断を委ねるのではなく、子どもたちの教育環境に責任を持つ立場から、「口吉川小学校のあり方検討特別委員会」と密に連携し、今後の方向性について丁寧かつ着実に検討を進めてまいります。

市政懇談会 回答

地区名	口吉川地区	
意見・提言等	2	ラジコン草刈り機の購入・貸出について (西中)
(内容)		
私たちの自治会では、毎年、池周辺などの共用地の草刈りを共同で行っていますが、住民の高齢化が進み、年々作業の負担が大きくなっている。 この負担を軽減するため、ラジコン草刈り機の導入をはじめとした機械化を進めたいと考えているが、購入資金の調達・確保が難しい状況になります。 近隣では、兵庫県東播土地改良区や神戸市農政公社、朝来市などがラジコン草刈り機などを貸し出す事業を実施されています。 については、三木市においても、ラジコン草刈り機を購入していただき、利用を希望する各地域に貸し出す支援制度を創設していただきたい。		
回 答	(担当課) 産業振興部 農業振興課	
ご意見をいただいているラジコン草刈り機の貸し出す支援制度については、機械の保管場所、機械の点検作業及び作業時の事故に伴う補償など整理しなければならないことがあり、現時点での制度の導入は考えておりませんが、他市の調査や企業との連携について検討は行っています。 市としては、集落営農組織や認定農業者を対象とした市の補助制度について、支援内容等の見直しを検討していくとともに、国や県の補助制度を活用して機械導入していただくことを推奨しています。また、吉川地区においては、多面的機能支払交付金制度の広域化により機械導入を進めようとしているほか、農地中間管理事業による集積協力金を活用して機械導入を行った地区もありますこと、ご紹介させていただきます。		

市政懇談会 回答

地区名	口吉川地区	
意見・提言等	3	持続可能な農業について（保木）
(内容)		
農業従事者の高齢化、後継者不足等により、離農者ややむを得ず耕作面積の縮小、耕作放棄地が生じるなど、誰が農地を守っていくのか不安がある。 作業の省力化、負担の軽減策として、国はスマート農業を推奨しているが、小規模営農組合が取り組むには初期費用が高額になるなど難しいものがある。 市として、現実を見て魅力ある持続可能な農業、農業を続けるメリットを増やす取り組みなどの方策を考えていただきたい。		
回 答	(担当課) 産業振興部 農業振興課	
農業従事者の高齢化や後継者不足は、口吉川地区だけの問題ではなく、三木市全域での課題となっており、兼業農家が多数を占める現状を踏まえ、市では、営農組織の設立や認定農業者の育成指導を行っています。 口吉川地区においては、ほぼ全集落で営農の組織化が設立されておりますが、地域計画策定時の協議の場でも各組織で担い手不足などといったそれぞれの課題があり、その課題解決に向けて、法人化・広域化そして認定農業者と組織の共存、企業誘致といった具体的な方策を検討しようといった意見も出てきております。 市では、「地域計画」を実行に移していく取組として、昨年は既存の組織向けの研修として、組織の広域化に向けた視察研修や法人化研修を開催させていただきました。 今年度は、組織が抱える課題解決に向けたテーマ別の研修会を開催する予定でありますので、ぜひご参加いただきますようお願いいたします。 今後、各集落及び営農組織が、農業を守ることだけではなく、集落を維持していくためにいかに非農家も含めた協力体制を整備していくことが重要であると考えます。		

市政懇談会 回答

地区名	口吉川地区	
意見・提言等	4	市政懇談会におけるフリーストークについて（区長協議会）
（内容） 市政懇談会は、市長及び副市長、各部長等、市の幹部が一堂に会して、年に一度開催される市民との貴重な直接的な意見交換の場である。 しかしながら、近年は各地区から出した数項目の意見・提言に限って、ほぼ市からの回答を受け、それに対する質疑のような形になっており、懇談会とは言い難い。一方、区長協議会やふれあいまちづくり協議会、各種団体の役員にしても1、2年で役員交代するなかで、知識もなく構えてしまい中々議論を深められるものではない。思い付き的な発言であっても、もっと、ざっくばらんに意見交換をすることで議論が深まり、地元としても新たな展開が開けるのではないかと考える。 そこで、30分程度、テーマを絞らず、住民の様々な意見を聞いていただき、言質を取らないことを前提に、行政に携わる方々の意見やアドバイスをいただくような形にはできないか。		
回 答	（担当課）市民生活部 市民協働課	
市政懇談会は、行政施策に地域住民の意見や提言を反映し、市民の行政への参加を促すとともに、行政と市民が方向性を共有してまちづくりを進めるため、10地区の区長協議会主催のもと実施しています。 実施方法については、毎年、区長協議会定例例理事会の場で協議を行い、決定しています。 令和7年度までは、市と意見交換が必要な地域課題を議題とすることとしていましたが、令和8年度からは、地区が要望するテーマ（高齢福祉、農業振興、市が各地区において推進する施策・計画など）について市が説明を行う、いわゆるプレゼンによる意見交換を追加しました。 このプレゼン方式の場合は、地区の大きなテーマについて議論を行うことを想定しています。したがって、ご指摘の住民の様々な意見を聞き、地域に関する自由闊達な意見交換ができるものと考えています。 市政懇談会で意見交換する議題は、地域住民の意見等を区長様		

が吸い上げ、地区区長協議会で取りまとめ、地域課題として提出していただいています。市はそれを地域課題として捉え、意見交換などを行い、住民とともに課題解決につなげていきたいと考えています。

今後、ご提案のフリートークを含む次年度以降の開催方法については、市全体の区長協議会定例理事会の場で協議してまいります。

[illegible]